

セキュリティ診断サービス

多層防御検証型

ペネトレーションテストで
セキュリティ課題を洗い出す

セキュリティ課題の洗い出しを支援。 脆弱性診断からペネトレーションテストまで対応する「セキュリティ診断サービス」

高度な知識とノウハウを有するハッキング技術の専門家が、ツールの実行結果検証や、手動診断を組み合わせ、きめ細やかなセキュリティ診断を行います。
システムにおける脆弱性の検知をメインとする「脆弱性診断」に加え、ネットワークの階層ごとのセキュリティ強度に観点を置いた「ペネトレーションテスト(多層防御検証型)」を提供。
安心・安全なビジネスを展開するために、社内のセキュリティ対策強化を支援します。

診断サービスの特長

ハッキング技術の専門家による診断

- ◆国内外の著名なセキュリティコンテスト*で好成績を収めるハッキング技術の専門家が、さまざまな手法やツールを駆使し、精度の高い診断を実施
*SANS Instituteが主催する「SANS 日本NetWars」など



セキュリティ課題の洗い出しを支援

- ◆Webアプリケーションやネットワーク診断に加え、無線LANのアクセスポイントや、スマートフォンと通信を行うWebAPIといった侵入口の診断にも対応。パブリッククラウド(AWS/Azure/GCP)のセキュリティリスクを診断することも可能
- ◆ネットワークの多層防御に対して階層ごとに侵入(ペネトレーション)を実施し、ハッカーやマルウェアなどの攻撃に対する防御の実態を把握可能



分かりやすい報告書・報告会

- ◆診断の結果発見された脆弱性や課題については、その内容と対策方針を分かりやすくまとめて提示。効果的なセキュリティ対策を行うことが可能



各診断のメリット

日立ソリューションズのセキュリティ診断サービスは、目的に合わせて以下の2種類から選択できます。

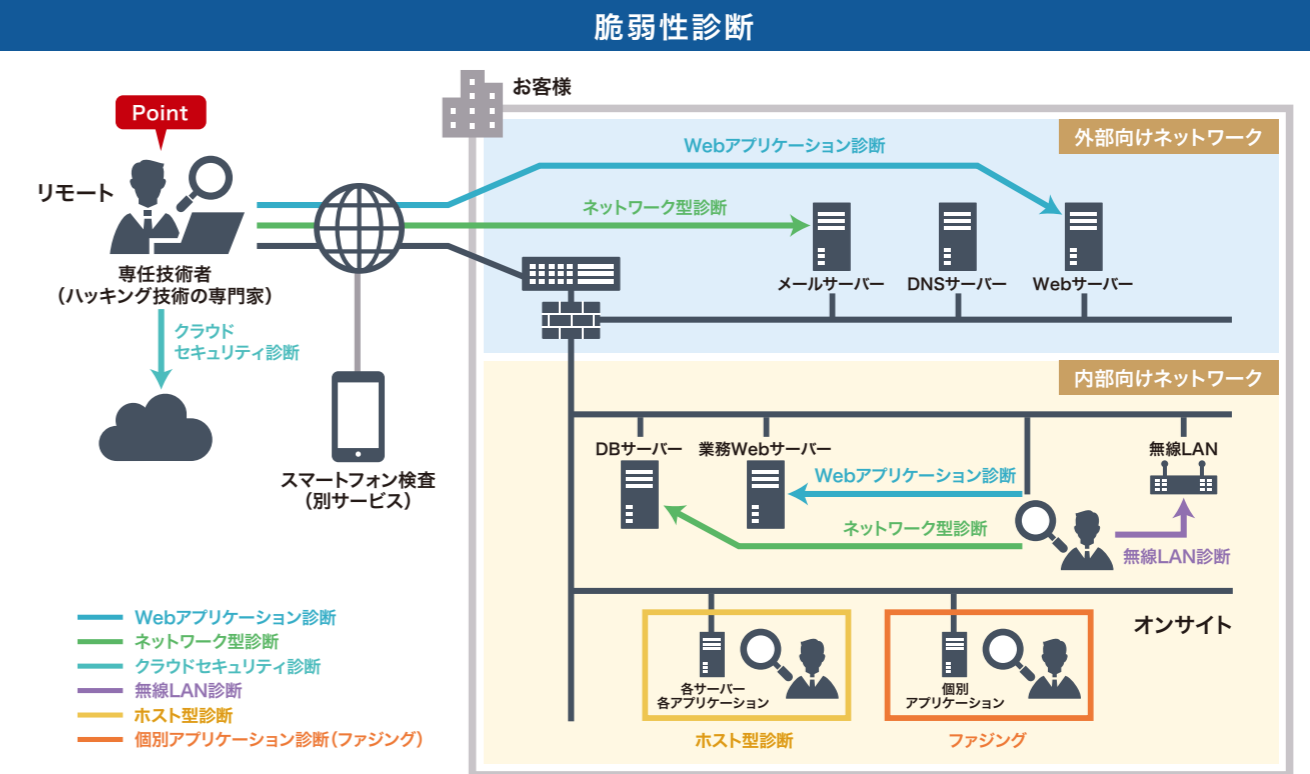
脆弱性診断

システムに対してツールと手動診断を駆使した疑似攻撃を実施し、マルウェアなどによる攻撃の侵入口となる既知の脆弱性を網羅的に検出します。「システムの外部」からも診断でき、お手軽・スピーディーに実施が可能です。クラウドについては、システム内部・外部から総合的な診断が可能です。

ペネトレーションテスト (多層防御検証型)

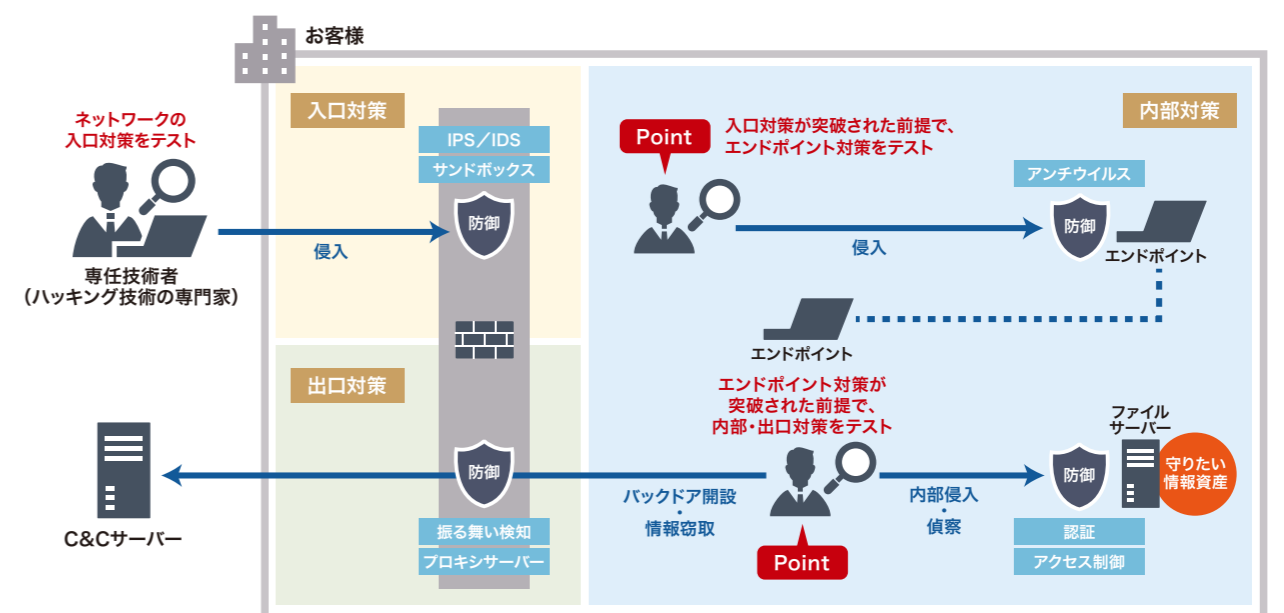
ネットワークの多層防御の各階層に対し、攻撃者と同様の手口で侵入や改ざんなどの攻撃を実施し、セキュリティ対策を突破できるか調査します。各階層の弱点を洗い出し、情報資産を守るための対策につなげます。

セキュリティ診断サービスのイメージ



Point Webアプリケーションやネットワークの脆弱性を外部・内部から診断するほか、パブリッククラウド環境(AWS/Azure/GCP)のセキュリティリスクの診断も可能です。

ペネトレーションテスト (多層防御検証型)



Point 各階層のセキュリティ対策を突破できなかった場合も、突破できたと仮定し、次の階層から再度侵入テストを実施。セキュリティ対策の弱点を見逃しません。

〈脆弱性診断〉

Webアプリケーション診断

*別サービスとしてスマートフォンのアプリケーションを診断する「スマートフォン検査」も提供しています。

- ◆ 作成されたWebコンテンツに対して、Webアプリケーション特有の脆弱性の有無を診断
- ◆ Webアプリケーション検査ツールと、ハッキング技術の専門家による手動診断に対応
- ◆ スマートフォン向けのWebAPIに対応

ネットワーク型診断

- ◆ 公開されている各種ネットワーク機器、OSやミドルウェアの脆弱性をネットワーク経由で疑似攻撃することにより診断
- ◆ ウェルノウンポートだけではなく、データベースやルーターなど、アプリケーションやデバイス固有のポートについても診断可能。メールやDNSなどのサービスが不正利用される可能性がないかを確認

クラウドセキュリティ診断

- ◆ パブリッククラウド環境 (AWS/Azure/GCP) のセキュリティ対策状況を把握することが可能
- ◆ CISベンチマークに代表されるインフラ設定だけではなく、OSや、ミドルウェア、データ、サーバーレス環境、コンテナ環境の脆弱性を網羅的に診断

無線LAN診断

- ◆ 社内に設置した無線LANアクセスポイントなどを入口として社内ネットワークに侵入される可能性がないか、無線LANの脆弱性を診断

ホスト型診断

- ◆ ホスト検査ツールを使用し、セキュリティパッチ適用状況やパスワード設定状況など、OSやアプリケーションのセキュリティ設定を確認

個別アプリケーション診断(ファジング)

- ◆ 組み込み機器や制御システムを含めた、さまざまな個別アプリケーションの通信に存在する脆弱性を独自の診断ツールを使用して診断
- ◆ 攻撃者がシステム侵入時に入口として利用する脆弱性の有無を診断

〈ペネトレーションテスト〉

多層防御検証型

- ◆ ネットワークの多層防御における各階層に対し、実際に攻撃者が使うような手口を用いて侵入や改ざんなどの攻撃を実施。セキュリティ対策を突破できるか調査することで、各階層の課題を明確化

自動実行型

- ◆ 指定したIPアドレスの範囲でツールが脆弱性を見つけ、MITREが公開している、サイバー攻撃に実際に用いられた攻撃手法などをまとめた世界的なフレームワークATT&CKにもとづいて、自動で攻撃を実施

MITRE: The MITRE Corporation (米国の連邦政府が資金を提供する非営利組織で、CVEの運用を実施)

ATT&CK: Adversarial Tactics, Techniques, and Common Knowledge CVE: Common Vulnerabilities and Exposures

※スマートフォン検査は、グローバルセキュリティエキスパート株式会社との協業サービスです。 ※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。 ※本カタログに記載の内容は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本サービスを輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。 なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

 株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/security_consul/security_assessment.html